



日本原子力研究開発機構における 研究データ公開に向けた管理体制整備の取組

日本原子力研究開発機構 稲垣理美

2025年度 RUDF公開シンポジウム 2025/12/12





背景・課題

【背景】

- 2020年3月 「日本原子力研究開発機構研究データの取扱いに関する基本方針」(ポリシー)策定
- 2020年9月 内部規程を整備
- 2021年4月 各組織での研究データ管理計画運用開始
- 2024年6月 JOPSS(機関リポジトリ)での研究データ公開開始

【課題】

- ポリシー等規程類の策定時にオープンサイエンス推進を軸としていた
→経済安全保障等の考え方との整合性を図り、管理対象の再定義等が必要
- 管理基盤の未整備
- 研究データマネジメントのための研究者向け情報の充実化



取組体制

- 方針整備
 - 経済安全保障担当、文書管理担当
組織と協調、経営層との意見交換
- 管理基盤整備
 - 情報セキュリティの観点から、
システム部門が独自構築
- RDM関連情報の提供
 - DMPの作成を研究部署に義務付けているが、認知度はまだ低い
 - 機関の特徴に合わせた情報提供

研究者・技術者

- 研究開発活動
- データ作成・管理

研究開発推進部 (図書館、成果管理)

- 方針整備
- リポジトリ運営
- RDM関連情報の提供

システム計算科学 センター

- 管理基盤整備
- アクセス制御

🔍 1.ポリシー及び内部規程の改正

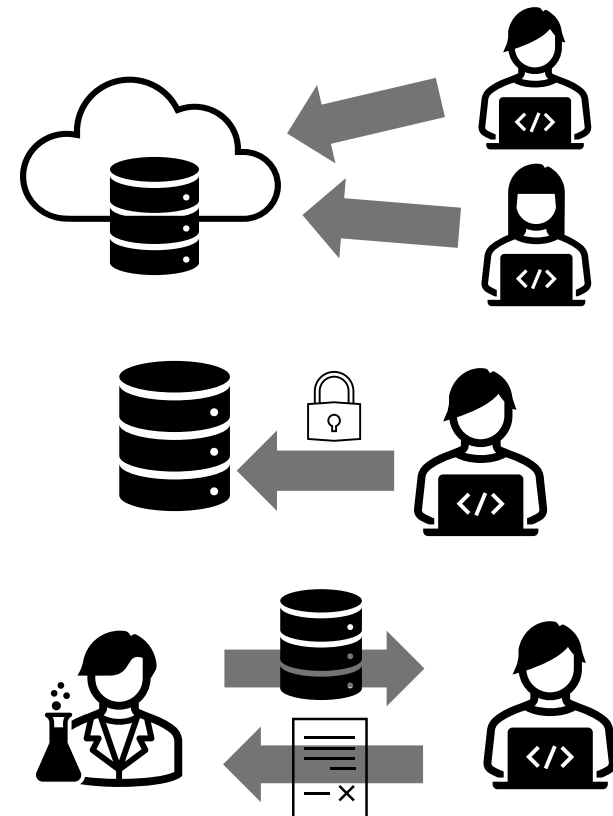
- 策定時にオープンサイエンス推進を軸としていた
→経済安全保障等の考え方との整合性を図り、
管理対象の再定義等が必要

- ポリシー

- 非公開とする研究データの取扱いを追加

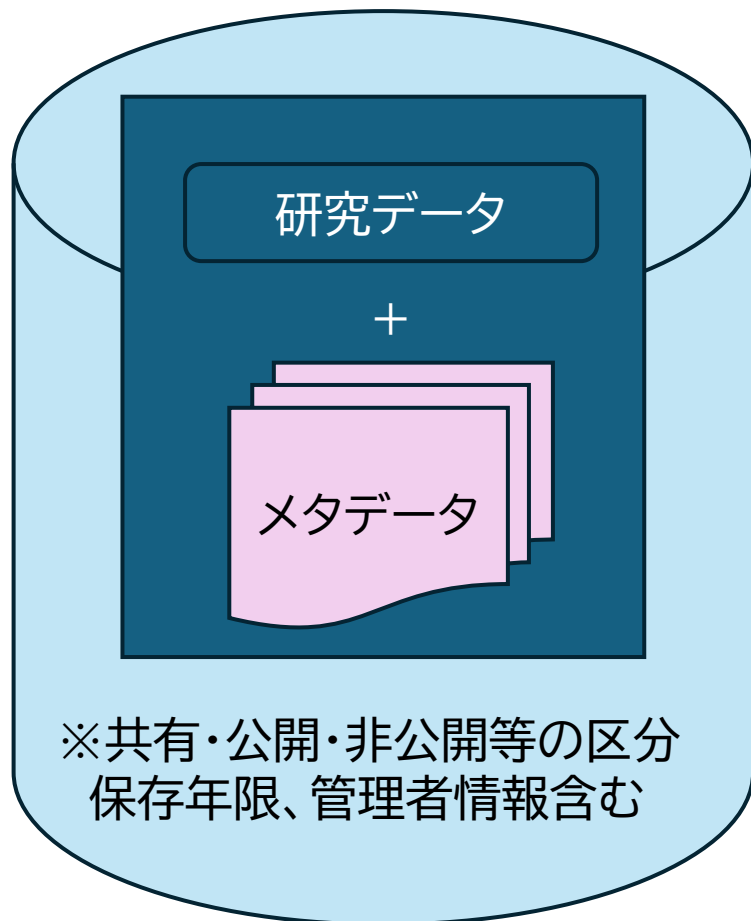
- 内部規程

- 用語の定義の見直し
 - 管理対象とする研究データの明確化





2.研究データ管理基盤の構築



- 組織大の管理基盤を構築中
- セキュリティ基準により独自構築としている
- 登録対象とする「研究データ」
 - 論文等のエビデンスデータ(必須)
 - 組織として管理すべき利活用可能性のあるデータ
 - 保存日等の証跡を記録すべきデータ
- アクセス制限
 - 各研究データについて、適切なアクセス制限(IPレベル、JAEA外秘など)、をかけられる必要がある

JAEA内の研究データ管理システムイメージ

※研究者のデータ管理に関する負担が膨大にならないことが重要

🔍 3.研究データ公開手続きガイド

- 研究データマネジメントのための研究者向け情報の充実化
- ポリシー及び内部規程の改正、管理基盤の構築に合わせて更新予定

